

会派名 郡山市議会公明党

支出調書

代表者	経理責任者	起案者

区分	事由	費目金額				小計	
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費 旅費(1/16 中央) 出席者負担金	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費 12,000	
		交通費		旅費	19,400	自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
		その他					
使用者	小島寛子	支出年月日	平成30年02月19日	現金出納簿 支出番号	55	合計	31,400円

出張（調査等）報告書兼旅費請求書（精算払用）

支出番号 55

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので承認いただくとともに、旅費を請求いたします。

出張（調査等）議員名

・ 小島寛子	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)

記

期 間	H30年3月16日 ~ H30年3月16日 (泊1日)
目 的	調査研修
用 務 先	千代田区 中央区
行 程	別紙行程表のとおり
内容及び成果	「働き方改革の処方箋」

上記のとおり出張（調査等）を承認します。

会 派 会 長	経 理 責 任 者	受 理 日	H30年3月19日
(印)	(印)	確 認 日	H30年3月19日
		支 出 日	H30年3月19日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

旅費請求額	19,400円	左記の旅費を受領しました。 H30年3月19日 代表者 小島寛子 (印)
-------	---------	---

平成29年度 郡山市議会公明党 行政調査行程表

1 行程

□ 平成30年3月16日 (金)



2 人員 1名

小島寛子 議員

3 調査内容

【働き方改革の処方箋ー人手不足対策から人材(財)戦略への転換

～人手不足の実態・対策から

ジェネラリスト・スペシャリストの「力」の活用方策を構築する～

○平成30年3月16日(金) 10:00～17:00

I. 【基調報告】なぜ、自治体は『人手不足』なのか

～非正規公務員問題から人材(財)戦略を考える～

上林 陽治氏 ((公財)地方自治総合研究所研究員)

II. 自治体の先駆的取組み報告

II-1【兵庫・芦屋市】活力ある包括支援システムづくりと人育て

～庁内連携による多角的・制度横断的な仕組みを生かした地域福祉の推進～

細井 洋海氏 (芦屋市 福祉部地域福祉課長)

II-2.【神奈川・秦野市】持続可能な地域公共交通網の構築と行政の役割

～地域住民、事業者及び行政をどうコーディネートするか～

細井 洋海氏 (芦屋市 福祉部地域福祉課長)

II-3.【静岡・藤枝市】キャリアデザインによる人材育成と働きがいの創出

～「スペシャリスト・ジェネラリスト」の総合力・専門力の活用方策～

福地 晶子氏 (藤枝市総務部人事課主幹兼人材育成担当係長)

II-4.【東京・豊島区】ICTを活用した職場環境のリノベーションと働き方改革

～モバイルワーク導入の実際ーそのシステムと運用、成果、課題～

高橋 邦夫氏 (豊島区 区民部税務課長)

II-5.【千葉・浦安市】税務業務全般の最適化とBPOの導入

～職人気質の「税部門」の定型化・標準化・外部委託化への挑戦～

小泉 和久氏 (浦安市 財務部市民税課税制係長)

III. 【パネル討論 (質疑応答&意見交換)】

「人材(財)」の育成・活用と働き方改革が鍵を握るこれからの行政経営・サービス

司会：上林 陽治氏 ((公財)地方自治総合研究所)

パネラー：細井 洋海氏 (兵庫・芦屋市)、

保坂 富士雄氏 (神奈川・秦野市)、

福地 晶子氏 (静岡・藤枝市)、高橋 邦夫氏 (東京・豊島区)

小泉 和久氏 (千葉・浦安市)

4 事務局連絡先・会場

○【会場】東京エビキタス協創広場 CANVAS (東京都中央区荒川2-4-7)

○【事務局】電子自治体推進パートナーズ

地域科学研究会

〒102-0082 東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2

電話：03-3943-2221

FAX：03-3234-4993

MAIL：machi@chiikikagaku-k.co.jp

行政調査旅費計算書

会派名 : 郡山市議会公明党

参加議員 : 小島 寛子

日程 : 平成30年3月16日(金)

行先 : 東京ユビキタス協創広場 CANVAS (東京都中央区荒川2-4-7)

1/26 (金)

郡山駅	JR新幹線 やまびこ 120号 226.7	東京駅	JR京葉線 快速 蘇我行 1.2	八丁堀駅	JR 武蔵野線 東京行 1.2	東京駅	JR新幹線 つばさ 93号 226.7	郡山駅					
運賃	4,000		4,000									8,000	
急行料金	4,200					4,200						8,400	
グリーン												0	
実費												0	

運賃												0
急行料金												0
グリーン												0
実費												0

運賃												0
急行料金												0
グリーン												0
実費												0

交通費 16,400 16,400

日当 3,000 × 1日 = 3,000

合計 19,400円 × 1人 = 19,400円

平成30年8月16日(金) 10:00~17:00

働き方改革の処方箋

人手不足対策から人材(財)戦略への転換

〈基調報告〉

「なぜ自治体は人手不足か」

(公財) 地方自治総合研究所

研究員 上林陽治氏

基調報告の中で、平成6年以降に地方公共団体の総職員数は減少が続いている。

公務員の国際比較においては、被雇用者数に占める公務員数の割合から、一番多、1ルウェーの33.4%に対し、日本は7.6%であり、中でも女性の割合は、スウェーデンの71.8%に対し、日本は41.9%とどちらも低い割合になっている。

報告では、公務員数の少ないという点とどのようなように見ているか、その内容について述べている。本質的には適材適所になっているため、人材不足、人手不足感が増しているのではないと思われる。

また、専門職、資格職の非正規化し、異動も限定される現象がある。

その中で、相談業務について具体的に触れ

られており、縦割り行政といわれることと克服
すべし。相談窓口のあり方について言及された。

その後、芦屋市、秦野市、藤枝市、豊島区
浦安市の先駆的な取り組み事例について
伺った。

〔基調報告〕なぜ、自治体は『人手不足なのか』 ～非正規公務員問題から人材(財)戦略を考える～

(公財)地方自治総合研究所
研究員
上林 陽治

1. 本当に地方自治体は人手不足なのか
2. 人手不足と人材(財)不足は異なる
3. 職務無限定人事異動の弊害～職員の非正規化の原因～
4. 相談業務の標準化
5. 硬直的な人事制度が配置不足と人手不足を招く

〔自治体の先駆的な取組み報告〕

1.〔兵庫・芦屋市〕活力ある包括支援システムづくりと人育て
～庁内連携による多角的・制度横断的な
仕組みを生かした地域福祉の推進～

芦屋市 福祉部
地域福祉課長
細井 洋海

1. 芦屋市の概要
2. 地域福祉推進の取組み
3. 庁内連携の仕組みづくり
4. 行政改革とプロジェクト・チームの取組み
5. 地域共生社会の実現に向けて

〔自治体の先駆的な取組み報告〕

2.〔神奈川・秦野市〕持続可能な地域公共交通網の構築と行政の役割 ～地域住民、事業者及び行政をどうコーディネートするか～

秦野市 都市部参事兼
公共交通推進課長
保坂 富士雄

1. バス交通の利便性向上と乗合タクシーの導入
2. 地域住民、交通事業者との関わり—持続可能な地域公共交通を目指して
3. 職員の取組み方—地域公共交通のさらなるステージへ

〔自治体の先駆的な取組み報告〕

3.〔静岡・藤枝市〕キャリアデザインによる人財育成と働きがいの創出 ～「スペシャル・ジェネラリスト」の総合力・専門力の活用方策～

藤枝市 総務部人事課主幹兼
人財育成担当係長
福地 晶子

1. 藤枝市が求める職員像と人財育成
2. “なりたい自分”実現に向けたキャリアデザイン支援
3. 職員の意欲と生産性を高める人材活用

〔自治体の先駆的な取組み報告〕

4.〔東京・豊島区〕

ICT を活用した職場環境のリノベーションと働き方改革

～モバイルワーク導入の実際—そのシステムと運用、成果、課題～

豊島区区民部

税務課長

高橋 邦夫

1.庁内移転で実施したペーパーレス化、モバイルワークと働き方改革

2.取組みの成果と情報セキュリティ

3.次への課題—RPA(Robotic Process Automation)とAI 導入と人財育成

〔自治体の先駆的な取組み報告〕

〔千葉・浦安市〕税務業務全般の最適化とBPOの導入
～職人氣質の「税部門」の定型化・標準化・外部委託化への挑戦～

浦安市 財務部市民税課
税制係長
小泉 和久

1. 定型化・標準化に向けた業務
2. 定型業務の外部委託(BPO)化の取組み
3. 外部委託(BPO)化の導入効果

第VII期 セミナー第9回 [受講証]

No. 6

郡山市議会議員

小島 寛子 様

電子自治体推進パートナーズ(事務局)

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一番町 6-4

ライオンズ第2-106 〒102-0082

TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

E-mail; machi@chiikikagaku-k.co.jp

(担当: [REDACTED])

第9回:『人手不足対策から人材(財)戦略への転換』

受講証・会場地図のご送付について

2018年3月16日(金)10:00~17:00 内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS

前略 この度は上記セミナーにお申込みいただき、誠にありがとうございます。受講証及び会場地図をお送りしますので、宜しくご確認の程お願い申し上げます。 草々

【会場】内田洋行 東京ユビキタス協創広場 CANVAS 2階会議室(東京都中央区新川2-4-7)

(「UCHIDA」のロゴ看板がある建物)

JR・地下鉄(東京メトロ): 日比谷線「八丁堀駅」下車、A4出口より徒歩4分

日比谷線・東西線「茅場町駅」下車、1番出口より徒歩5分

JR京葉線「八丁堀駅」下車、B4出口より徒歩5分

東京駅よりバス: 東京駅八重洲南口より「東15系統」または「東16系統」で「深川車庫」「豊洲駅」「住友ツインビル」行きで4つめの停留所「新川」(内田洋行本社前とアナウンス有り)で下車、徒歩1分

※お車でのご来館はご遠慮下さい。



追伸: 当日ご都合が悪くなられた場合には、代理の方の出席をお願い致します。もしくは、「メディア参加」扱いとさせていただきますので、宜しくご了承の程お願い申し上げます。

メディア参加: 研修会開催後に講演収録CD(未編集)と配布資料をお送り致します。お支払いは請求書を同封しますので銀行振込でお願い致します。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 55

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	○2 研修費	3 広報費	4 広聴費		出席者負担金・会費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)	調査研修に係るセミナー出席者負担金				
内 容	セミナー「人手不足対策から人材(財)戦略への転換」の転換 受講参加費				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2018年3月16日	(株)地域科学研究会		12,000 円		
上記のとおり支出します。					
					議員氏名 小島寛子 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No.

郡山市議会公明党小島寛子 殿

金 額	¥	12	0	0	0
-----	---	----	---	---	---

但し 3/16 人手不足対策から人材(財)戦略への転換セミナー参加費
上記金額正に領収いたしました

2018年3月16日

〒102-0082 東京都千代田区千代田 6-4
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 ライオンズ第2
株式会社 **地域科学研究会**
代表取締役 **緑川富美雄**

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

No. 757

2018年3月8日

請求書

郡山市議会公明党 小島 寛子 様

株式会社 地域科学研究会

〒102-0082 東京都千代田区千代田6-4

TEL(03)3234-1231 ライオンズ第2

代表取締役

緑川



請求金額

¥12,000

内 訳	数 量	@	金 額	摘 要
働き方改革の処方箋—人手不足対策から 人材(財)活用・確保方策への転換	1	12000	12,000	
セミナー参加費				
以下余白				
合 計			¥12,000	

上記の通り御請求申し上げます。

振込先

みずほ銀行 麹町支店

普通 1159880

三菱東京UFJ銀行 神田支店

普通 5829767

三井住友銀行 麹町支店

普通 7411658

郵便振替

00110-8-81660

口座名: (株)地域科学研究会

(振込手数料は各自ご負担の上、お振込下さい。)

会派名 郡山市議会公明党

支 出 調 書

代表者	経理責任者	起案者

区 分	事 由	費 目				金 額	小 計
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研 修 費 旅費 (3月29日千代田区)	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	19,800
		交通費		旅費	19,800	自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料	
3	広 報 費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌 (紙)		報告書等印刷費	
		送料 (折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4	広 聴 費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6	会 議 費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7	資 料 作 成 費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8	資 料 購 入 費	法規追録代		参考図書代		新聞 (日刊紙) 購読料	
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9	人 件 費	賃金		社会保険料等		振込料	
10	事 務 所 費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動 車燃料費	電話料等 (按分)		郵便料等		自動車燃料費 (按分)	
		その他					
使用 者	小島寛子	支出年月日	H30年3月26日	現金出納簿 支出番号	57	合 計	19,800 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 57

会派会長様

申請代表者氏名 小島寛子

下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	44,800 <u>19,800</u> 円（1人あたり） 44,800 <u>19,800</u> 円 ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	調査研修	
用務先	千代田区	
内容	「公共施設再編時代の図書館」	
期間	H30年3月29日 ~ H30年3月29日（0泊/日）	
行程	別紙✓行程表のとおり	
出張（調査等）者氏名	小島寛子	
特記事項		

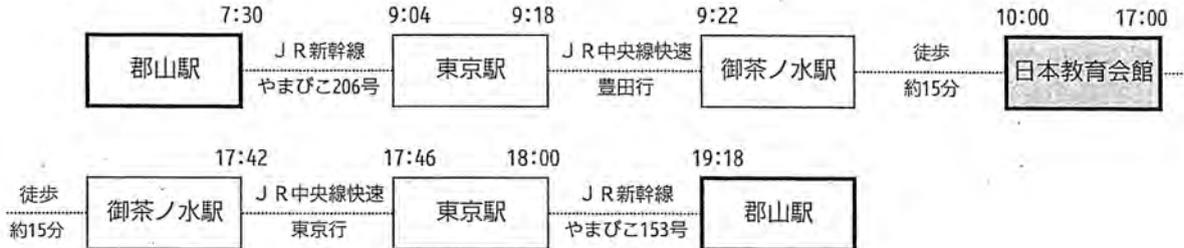
上記のとおり出張（調査等）を許可します。			
会派会長	経理責任者	受理日	H30年3月26日
		許可日	H30年3月26日
		支出日	H30年3月26日

上記金額を受領しました。 H30年3月26日	申請代表者氏名 <u>小島寛子</u>
---------------------------	---------------------

平成29年度 郡山市議会公明党 行政調査行程表

1 行程

□ 平成30年3月29日 (木)



2 人員 1名
小島寛子 議員

3 調査内容 【まちづくりセミナー】

○平成30年3月29日 (木) 10:00~17:00

- I. 図書館による「知の地域づくり」～現状と今後の可能性～
 1. 図書館による「知の地域づくり」の現状
 2. 公共施設再編と公立図書館による地方創生
糸賀 雅児氏 (慶応技術大学名誉教授)
- II. 自治体首長の図書館論と実践の報告
 1. 図書館を核とした「文化創造拠点シリウス」がめざしたもの
～年間来館数300万人から見えてくるものとは～
大木 哲氏 (神奈川県大和市長)
 2. 「知と行動の拠点」としての図書館
～ワークショップの成果、市民との協創～
小紫 雅史氏 (奈良県生駒市長)
 3. 直営に戻して取り組んだ4年間
林 茂男氏 (新潟県南魚沼市長)
- III. 【パネル討論 (意見交換&質疑応答)】
公共施設再編時代における図書館のあり方
～市長が語るわがまちの図書館像～
パネラー: 大木 哲氏、小紫 雅史氏、林 茂男氏
司 会: 糸賀 雅児氏

4 事務局連絡先・会場

○【会場】日本教育会館・会議室
(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

【事務局】地域科学研究会
東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第一2-106
電話: 03-3234-1231
FAX: 03-3234-4993

行政調査旅費計算書

会派名 : 郡山市議会公明党
 参加議員 : 小島 寛子
 日程 : 平成30年3月29日 (木)
 行先 : 日本教育会館・会議室 (東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

5/29 (月)

郡山駅	JR新幹線 やまびこ 26号 226.7	東京駅	JR中央線 快速 豊田行 2.6	御茶ノ水駅	JR中央線 快速 東京行 2.6	東京駅	JR新幹線 やまびこ 153号 226.7	郡山駅					
運賃	4,000		4,000								8,000		
急行料金	4,400				4,400							8,800	
グリーン												0	
実費												0	

運賃												0
急行料金												0
グリーン												0
実費												0

運賃												0
急行料金												0
グリーン												0
実費												0

交通費	16,800		16,800		
日当	3,000 ×	1日 =	3,000		
合計			19,800円	× 1人	= 19,800円

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 57

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・ 小島寛子	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)
・	(印)	・	(印)

記

期 間	H30年10月29日 ~ H30年10月29日 (泊1日)				
目 的	調査研修				
用 務 先	千代田区				
行 程	別紙行程表のとおり				
内容及び成果	別紙				
旅費精算	受領額	17,800 円	精算額	17,800 円	返納額 0円

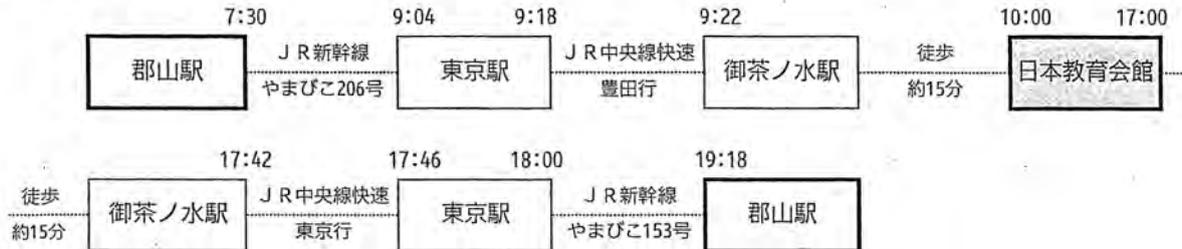
上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。					
会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	H30年10月30日	
(印)	(印)		確 認 日	H30年10月30日	
			精 算 日	H30年10月30日	

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

平成29年度 郡山市議会公明党 行政調査行程表

1 行程

□ 平成30年3月29日 (木)



2 人員 1名
小島寛子 議員

3 調査内容 【まちづくりセミナー】

○平成30年3月29日 (木) 10:00~17:00

- I. 図書館による「知の地域づくり」～現状と今後の可能性～
 1. 図書館による「知の地域づくり」の現状
 2. 公共施設再編と公立図書館による地方創生
糸賀 雅児氏 (慶応技術大学名誉教授)
- II. 自治体首長の図書館論と実践の報告
 1. 図書館を核とした「文化創造拠点シリウス」がめざしたもの
～年間来館数300万人から見えてくるものとは～
大木 哲氏 (神奈川県大和市長)
 2. 「知と行動の拠点」としての図書館
～ワークショップの成果、市民との協創～
小紫 雅史氏 (奈良県生駒市長)
 3. 直営に戻して取り組んだ4年間
林 茂男氏 (新潟県南魚沼市長)
- III. [パネル討論 (意見交換&質疑応答)]
公共施設再編時代における図書館のあり方
～市長が語るわがまちの図書館像～
パネラー：大木 哲氏、小紫 雅史氏、林 茂男氏
司 会：糸賀 雅児氏

4 事務局連絡先・会場

○【会場】日本教育会館・会議室
(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

【事務局】地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第一2-106
電 話：03-3234-1231
F A X：03-3234-4993

報告書

Ⅰの基調講演のレジメの中で「公共施設再編と公立図書館による地方創生」について、総務大臣による「公共施設等総合管理計画の策定要請」（2014年4月）の発端となり、公共施設等管理計画が各自治体で策定されている。図書館の分類として「文化系施設」「社会教育施設」「公の施設」等、あいまいな位置づけの「ハコもの」になっているとの指摘があった。

図書館は「公の施設」、「社会教育施設」の議論の分かれるところである。

2018年3月2日に文部科学大臣の中央教育審議会生涯学習分科会におこなわれた諮問の中で、(1)公民館、図書館、博物館等の社会教育施設に求められる役割について、地域活性化やまちづくり等との関連も含め、新たな時代に求められる役割について

(2)社会教育施設に求められる役割を果たすために必要な具体的な方策について、地域活性化やまちづくり等の分野と効果的に連携を図るための運営のあり方や振興のための方策、その所管のあり方、

(3)公立博物館について、まちづくり行政、観光行政等の他の行政分野との一体的な取組をより推進するため、条例により地方

公共団体の長への所管事項と可能にする
について

以上のような点も含めて、平成40年中に結論
と出されるようので、方向性と見守っていただきます。

後半では、神奈川県大和市長 大木哲氏、
奈良県生駒市長 小紫雅史氏、新潟県
南魚沼市長 林茂男氏より、各々の
事例紹介があった。大変に特徴的な
内容であり、直接現地調査としてみたかった。

また、最終的なパネル討論では ①市民と
の連携、②民間との連携 ③職員等の
育成 ④指定管理 ⑤学校図書館について
⑥公共施設再編の中での図書館 について
まとめられた。

2018年3月8日

研修会受講証

No. 13

郡山市議会議員

小島 寛子 様

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一番町 6-4
ライオンズ第2-106 〒102-0082
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
E-mail:machi@chiikikagakuek.dcf.jp

(担当: [REDACTED])

受講証及び会場地図のご送付について

『公共施設再編時代の図書館』

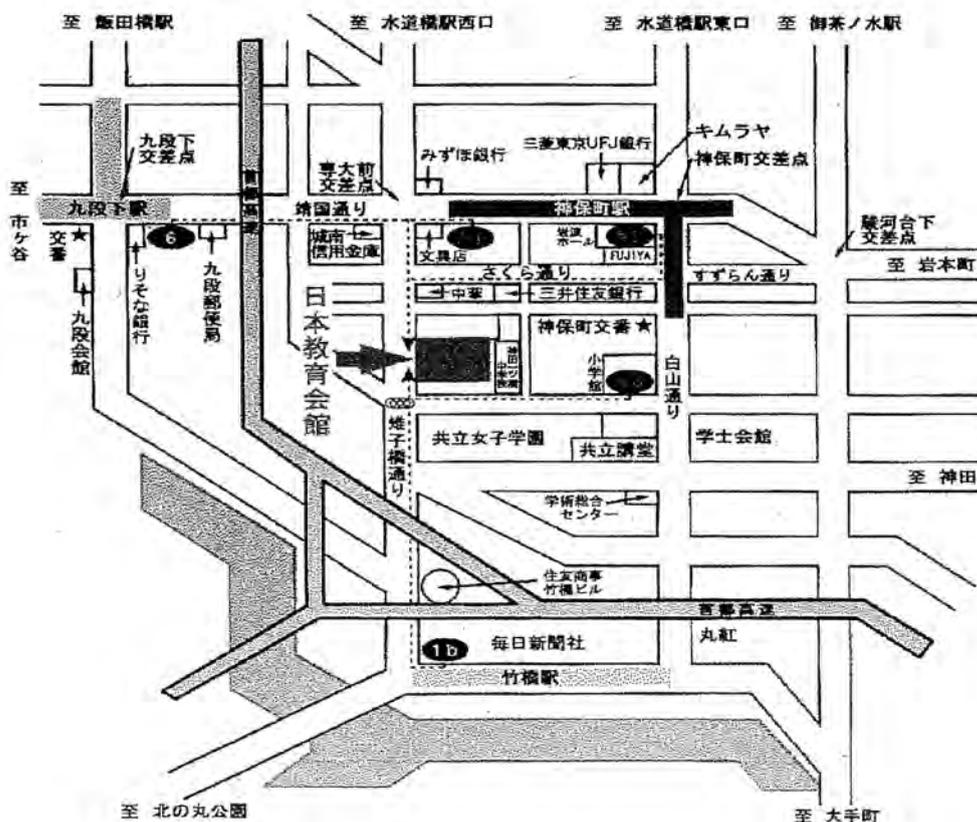
2018年3月29日(木) 10:00~17:00

前略 この度は上記研修会にお申込みいただき、誠にありがとうございます。受講証及び会場地図をお送りしますので、宜しくご確認の程お願い申し上げます。当日はお待ちしております。 草々

【会場】 日本教育会館 8階会議室

- 都営地下鉄 新宿線・東京メトロ 半蔵門線 神保町駅 (A1 出口) 下車徒歩 3分
- 都営地下鉄 三田線 神保町駅 (A8 出口) 下車徒歩 5分
- 東京メトロ 東西線 竹橋駅 (北の丸公園側出口) 下車徒歩 5分
- 東京メトロ 東西線 九段下駅 (6 番出口) 下車徒歩 7分
- JR 総武線 水道橋駅 (西口出口) 下車徒歩 15分

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 道案内専用電話 03-3230-2833



追伸：当日ご都合が悪くなられた場合には、代理の方の出席をお願い致します。

＜地域科学研究会＞まちづくり行政シリーズ99

図書館政策・市長フォーラム―「公の施設」か「社会教育施設」か

公共施設再編時代の図書館

～図書館の「知の地域づくり」拠点化と地方創生への活用方策を考える～

- まちづくりから見た「知の地域づくり」―公共施設再編時代の公立図書館と地方創生
- 大和市長(神奈川)―文化創造拠点「シリウス」開館1年/来館者300万人の成果と展望
- 生駒市長(奈良)―「知と行動の拠点」としての図書館/ワークショップの成果と市民との協創
- 南魚沼市長(新潟)―民間委託から直営に戻した4年間と情報発信拠点施設としての取組み

【講師】

糸賀 雅児 氏 / 慶應義塾大学名誉教授

大木 哲 氏 / 神奈川県大和市長

小紫 雅史 氏 / 奈良県生駒市長

林 茂男 氏 / 新潟県南魚沼市長

日時：2018年3月29日(木) 10:00～17:00

会場：日本教育会館・会議室

あすの街と村を考える
地域科学研究会

TEL：03-3234-1231 FAX：03-3234-4993

URL：<http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

担当 緑川富美雄/大石春奈/遠山伸

※本資料の全部、または一部の無断使用・転載を禁じます。

時	講 義 内 容
<p>Ⅰ. 図書館による「知の地域づくり」～現状と今後の可能性～</p> <p style="text-align: right;">慶應義塾大学名誉教授 糸賀 雅児氏</p>	
10:00 ? 10:45 (休憩 10分)	<p>1. 図書館による「知の地域づくり」の現状</p> <p>(1)「知の地域づくり」とは?</p> <p>(2)「まちづくり」から見た図書館による「知の地域づくり」の特性</p> <p>(3)民主主義と地方自治に果たす図書館の本来の役割</p>
10:55 ? 11:40	<p>2. 公共施設再編と公立図書館による地方創生</p> <p>(1)「公共施設再編」とは?</p> <p>(2)図書館での「地域課題の解決」による地方創生の事例</p> <p>(3)図書館は「公の施設」か「社会教育施設」か?</p>
<p>Ⅱ. 自治体首長の図書館論と実践の報告</p>	
12:40 ? 13:25	<p>1. [神奈川県大和市] 図書館を核とした「文化創造拠点シリウス」がめざしたもの ～年間来館者数300万人から見えてくるものとは～</p> <p style="text-align: right;">大和市長 大木 哲 氏</p> <p>(1)健康都市大和市の施策</p> <p>(2)文化創造拠点シリウス開館までの取組み</p> <p>(3)年間来館者数300万人を達成した要因</p> <p>(4)市民の求める公共施設とは?</p>
13:35 ? 14:20	<p>2. [奈良県生駒市] 「知と行動の拠点」としての図書館 ～ワークショップの成果、市民との協創～</p> <p style="text-align: right;">生駒市長 小紫 雅史 氏</p> <p>(1)生駒市の課題から図書館のあり方を考えた</p> <p>(2)「知と行動の拠点」としての図書館～公共×市民×地域～</p> <p>(3)将来のビジョン—「人」にとことんこだわりぬく</p>
14:30 ? 15:15	<p>3. [新潟県南魚沼市] 直営に戻して取組んだ4年間</p> <p style="text-align: right;">南魚沼市長 林 茂男 氏</p> <p>(1)南魚沼市の概要</p> <p>(2)駅前商業施設への図書館建設の経緯とその効果</p> <p>(3)情報発信の拠点施設としての取組み</p> <p>(4)地域、学校、民間との連携</p> <p>(5)今後の運営に向けた課題と目標</p>
<p>Ⅲ. [パネル討論(意見交換&質疑応答)] 公共施設再編時代における図書館のあり方 ～市長が語るわがまちの図書館像～</p>	
15:30 ? 17:00	<p>パネラー : 大木 哲 氏/神奈川県大和市長 小紫 雅史氏/奈良県生駒市長 林 茂男氏/新潟県南魚沼市長</p> <p>司 会 : 糸賀 雅児氏/慶應義塾大学名誉教授</p> <p style="text-align: center;"> } 参加者の質問に講師陣が答えるとともに、 公共施設再編時代の図書館をめぐる論点を 整理し論じ合います。 </p>

I. 図書館による「知の地域づくり」～現状と今後の可能性～

慶應義塾大学名誉教授
糸賀 雅児

1. 図書館による「知の地域づくり」の現状

- (1)「知の地域づくり」とは？
- (2)「まちづくり」から見た図書館による「知の地域づくり」の特性
- (3)民主主義と地方自治に果たす図書館の本来の役割

2. 公共施設再編と公立図書館による地方創生

- (1)「公共施設再編」とは？
- (2)図書館での「地域課題の解決」による地方創生の事例
- (3)図書館は「公の施設」か「社会教育施設」か？

Ⅱ. 自治体首長の図書館論と実践の報告 〔神奈川県大和市〕

図書館を核とした「文化創造拠点シリウス」がめざしたもの
～年間来館者数 300 万人から見えてくるものとは～

神奈川県大和市長
大木 哲

1. 健康都市大和市の施策
2. 文化創造拠点シリウス開館までの取組み
3. 年間来館者数 300 万人を達成した要因
4. 市民の求める公共施設とは？

知と行動の拠点」

としての図書館

～ワークショップの成果、市民との協創～

2018年3月29日

フォーラム「公共施設再編時代の図書館」

こむらさき まさし

生駒市長 小紫 雅史

1

はじめに

生駒市の紹介

2

Ⅱ.自治体首長の図書館論と実践の報告 〔新潟県南魚沼市〕直営に戻して取組んだ4年間

新潟県南魚沼市長
林 茂男

1. 南魚沼市の概要
2. 駅前商業施設への図書館建設の経緯とその効果
3. 情報発信の拠点施設としての取組み
4. 地域、学校、民間との連携
5. 今後の運営に向けた課題と目標

会派名 郡山市議会公明党

支 出 調 書

代表者	経理責任者	起案者
		

区分	事由	費 目				金 額		小 計
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		調査委託費		振込料		
2	研修費	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	25,000	25,000
		交通費		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		食糧費		振込料		
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費		
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代		
		振込料						
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		茶菓子代		振込料		
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		振込料				
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費		
		資料作成費		振込料				
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料		
		振込料						
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料		
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料		
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料		
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費		
		印刷代		振込料		配送手数料		
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)		
		その他						
使用者	小島寛子 	支出年月日	H30年3月29日	現金出納簿 支出番号	65	合計	25,000 円	

支出明細書兼支出証明書

支出番号 65

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		本席者負担金 会費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)					※該当する支出費目を記入
調査研修に係る本席者負担金					
内 容					
セミナー「公共施設再編時代の図書館」 受講参加費					
支出年月日		支 出 先		支 出 金 額	
平成 30年3月29日		(株)地域科学研究会		25,000円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名 小島寛子 	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

No. 7703

郡山市議会公明党小島寛子 殿

金 額	¥	2	5	0	0	0
-----	---	---	---	---	---	---

但し 公共施設再編時代の図書館 セミナー参加費

上記金額正に領収いたしました

2018年3月29日

〒102-0082 東京都千代田区千代田 6-4
 TEL03 (3234) 1231 FAX03 (3234) 4993 ライオンズ第2
 株式会社 **地 域 科 学 研 究 会**
 代表取締役 緑川 富 美 雄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。